

< Sammy Treatment >

グリオキシル酸濃度の調節が自在 NY発・Sammy Treatment、上陸

NYから、美容師の研究心をくすぐる酸熱トリートメントがやってきた！ その実態は？ 使い方は？

For who? どんな美容師におすすめ？

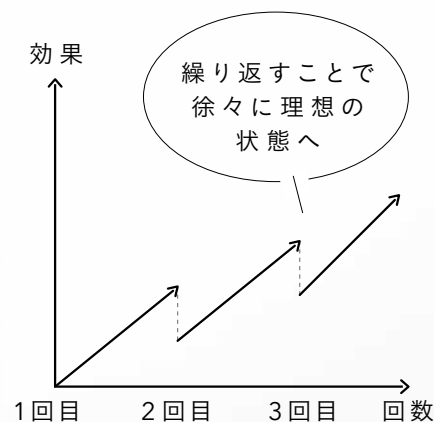
→ 技術を追求して
高付加価値を提供したい
美容師の期待に応えます


グリオキシル酸濃度や工程をカスタマイズし、お客1人ひとりに合わせた施術ができるため、技術が必要な自分しかできない武器になる。高単価・高付加価値メニューを提供したい、技術を追求したい美容師におすすめだ。

How to recommend? お客へのすすめ方は？

→ トリートメントでも
縮毛矯正でもありません。
髪にハリコシ・ボリュームを
出すストレートトリートメントです

「手触りが良くなる」や「クセがおさまりべたんこになる」といった効果を推すと、仕上がりとお客様のイメージが乖離してしまう。『サミートリートメント』は毛髪を強化し、髪にハリコシ・ボリュームを出しながらクセをおさえるもの。通常のトリートメントと違い繰り返すことで徐々に理想の状態に近づけるメニューだと説明しよう。



仕上がりのムービーは →  はこちら

What's Sammy Treatment? サミートリートメントって何？

→ グリオキシル酸濃度8～80%まで調節可能。
カスタマイズを楽しめる酸熱トリートメントです



『サミートリートメント』の一番の特性は、酸熱トリートメントの主要成分・グリオキシル酸の濃度を美容師自ら調節できること。濃度8%の『GSILK』に濃度80%の『GBOOST』を添加。推奨濃度は20～30%だが、お客の髪質や部位によってカスタマイズしよう。手触り重視なら低濃度、クセを緩和したいなら高濃度に。

How to use? どう使う？

→ 基本は6ステップ。
お客に合わせた手順を
研究してみてください

①プレシャンプー、②高粘度の『01』プレトリートメント後、③グリオキシル酸濃度を調節した『GSILK』『GBOOST』をフォーマーで塗布し、④20～30分加温。⑤水洗後、低粘度の『プロントリートメント』で残臭を軽減し、髪の形成を安定させる。⑥ドライ&ブローし、アイロンで毛髪の水抜きをする。基本はこの6ステップだが、他のアイテムを使用し、独自の手順を研究してみよう。

Glyoxylic acid 80%



Glyoxylic acid 8%



STYLING



ツヤめきカールに
透き通る寒色が映える

半年以内に4回のハイライト履歴があり、ひどいクセ毛に悩んでいたモデル。施術後はクセが解消し、ハリコシが出て自然な立ち上がり。アッシュ系のカラーで綺麗な透明感が出た。

BEFORE



AFTER



酸トリKingの秘ワザ、全部見せ！

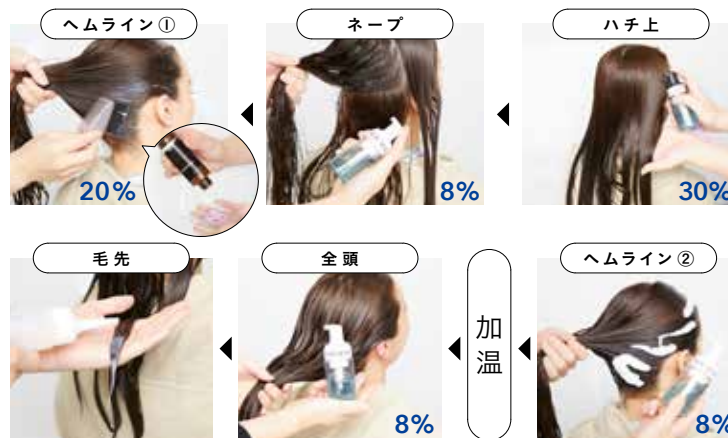
Sammy Treatmentで “遊んで”みない？

酸トリを極めた美容師は、『サミートリートメント』をどのように使いこなしている？ ここでしか見られない、Wataiオーナー・渡井さんのコツを大公開しちゃいます！

トリートメント塗布

部位によって剤の濃度を変える

今回は強いクセを伸ばすためハチ上に30%を塗布。毛束を強く握ってゆっくり離して浸透させる。ハイライトが多くハイダメージのネーブは8%で手触りをよく。クセが出やすいヘムラインはトリートメントに『GBOOST』を添加して塗布すれば液だれしない。その上から8%を重ねる。加温後、全体に8%を塗布して仕上げ。傷みが激しい毛先は『リペアプラス』で補修。



シャンプー&プレトリートメント

髪の毛の繊維に逆らわない

シャンプー一台の工程が仕上がりの6割を決める。そのコツは繊維に沿って髪を扱うこと。シャンプーもトリートメントも根元から毛先に向かってフォームで塗布。トリートメントは毛束を握ったときみ出すくらいたっぷり塗布し、カップで溜めたお湯をかけ流す。



カラー

トラブルも想定内

酸トリ直後は髪色がリフトしやすいので、2トーン落としたカラー剤を使用。カラー塗布後、放置中に毛先がビビったり、色が想像以上に沈んでも、キューティクルに沿ってコーミングし、25分放置すれば綺麗に仕上がる。



水洗

カラー後に8%を塗布

カラー剤水洗後、『GSILK』を塗布。さらに毛髪を強化するとともに、カラーを調整している。



ドライブロー&アイロン

アイロンはプレスしない

アイロンはプレスせず蒸すイメージ。ツインプラシでテンションをかけながら、220°Cで1秒間に2cmくらいの速さでアイロンを通す。うねりやすい顔周りは170°Cでテンションをかけずアイロン。



渡井タケト (Watai)

わたいたけと / 1985年8月22日生まれ。静岡県出身。早稲田美容専門学校卒業後、都内1店舗を経て静岡の実家のサロンへ入社。2019年より東京・自由が丘にWataiをオープン。これまでの酸トリ施術数は約2千人。

渡井流

Sammy Treatment 必殺7パターンの剤



組み合わせは無限大！……だけれど、これが渡井さんの7つの王道。①③④はクセの強さによって使い分け、②は個々に合わせて微調整。⑤は80%の『GBOOST』をトリートメントなどに添加し、液だれしたくない根元部分などに使う。⑥はハリコシを特に出したいた箇所、⑦は保湿したい箇所に使用。

技術者魂をくすぐる高単価メニューを楽しめ！

3年前に『サミートリートメント』に出会い、総施術者数は約2千人。独自に研究を重ね、数多の顧客を惹きつける渡井さんにその魅力を聞いた。

「『サミートリートメント』の施術は正直簡単ではありません。その分ではないグリオキシル酸濃度を追求できるのが技術者魂がくすぐられます。難しいと言っても、成功のコツはシンプル。シャンプーと塗布、水洗、そしてブロードライヤー・アイロンまでの動作でも髪の毛の繊維を整えるようにしていかに扱

う。ムラをつくらない。ドライ直後に無意味に触らない。1つひとつは当たり前なことでも、すべてちゃんとできるのが、1/100、1/200の美容師になれるかの分かれ道です」

自分しかできない技術で高付加価値を提供している渡井さん。月の平均単価は2万2000円だ。「最近1日で2回『サミートリートメント』を施術するプレミアムメニューは3万円に設定。ここにカラーやカットが入れば、より高単価になります。手間暇かけて技術を提供しているので高価格だとは思いません。本格派のための酸トリ・『サミートリートメント』を、一緒に楽しませんか？」